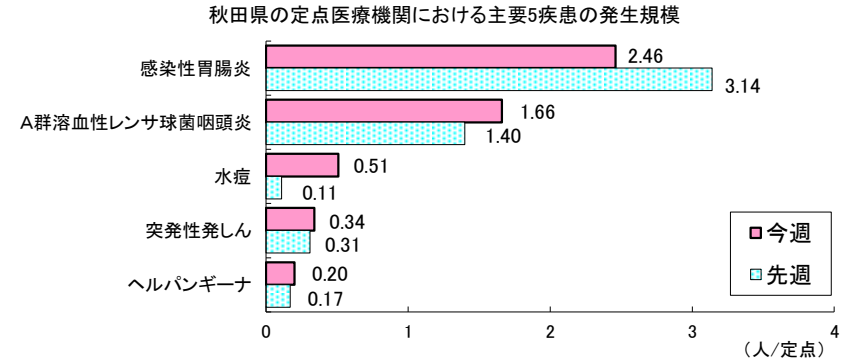




【第26週の発生動向】

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

1. 感染性胃腸炎は、県全体で22%減少しています。保健所別では、大館、能代、秋田中央で増加、北秋田、由利本荘で同規模、秋田市、大仙、横手、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.2倍に増加しています。保健所別では、能代、秋田中央、由利本荘、横手、湯沢で増加、秋田市で同規模、大館、大仙で減少しています。
3. 水痘は、県全体で4.6倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、秋田中央で増加、横手で減少しています。



発生報告

＜五類定点対象疾患(週報)＞

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減			
RSウイルス感染症	0.06	0.03	↘	0.29	0.14	↘																								
インフルエンザ	0.07	0.04	↘					0.14	↗										0.17	0.17		0.29		↘	0.20		↘			
咽頭結膜熱	0.26	0.03	↘	0.43		↘	0.25		↘										1.00		↘	0.25	0.25							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.40	1.66	↗	2.29	2.29		0.50		↘					0.33	↗	4.00	6.00	↗	0.50	0.75	↗	2.25	1.00	↘		0.33	↗			
感染性胃腸炎	3.14	2.46	↘	6.29	3.14	↘	2.75	3.25	↗	3.00	3.00		3.67	5.00	↗	2.00	2.75	↗	0.25	0.25		2.00	1.25	↘	2.00	0.67	↘			
水痘	0.11	0.51	↗	0.14	0.71	↗	0.50	1.25	↗		0.50	↗													0.33		↘			
手足口病	0.03	0.17	↗		0.14	↗	0.25	1.25	↗																					
伝染性紅斑	0.14	0.06	↘	0.43		↘		0.50	↗													0.25		↘	0.33		↘			
突発性発しん	0.31	0.34	↗	0.14	0.29	↗	0.75	0.75		2.00	1.00	↘					0.25	↗	0.25	0.25		0.25	0.25		0.33		↘			
ヘルパンギーナ	0.17	0.20	↗	0.14	0.14					1.50	1.50									0.50	↗	0.50	0.25	↘						
流行性耳下腺炎	0.03		↘	0.14		↘																								
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*								*	*				
流行性角結膜炎	0.29	0.14	↘	0.67	0.33	↘				*	*		*	*		*	*								*	*				
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎		0.25	↗													*	*						2.00	↗						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)	0.25	0.63	↗													*	*						3.00	↗	1.00		↘			

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から3人、能代保健所管内から1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が大仙保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のつつが虫病が大仙保健所管内から1人、レジオネラ症が横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の百日咳が秋田市保健所管内から6人、能代保健所管内から1人、秋田中央保健所管内から3人、横手保健所管内から2人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-25週 全国	秋田	26週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	9942	45	4
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	3		
	細菌性赤痢	44		
	腸管出血性大腸菌感染症	856	4	1
	腸チフス	17		
	バラチフス	10		
四類	E型肝炎	245	2	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	235	7	
	エキノコックス症	5		
	黄熱			
	オウム病	11		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサヌル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	37		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
タニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	(人)		
		1週-25週 全国	秋田	26週 秋田
四類	チクングニア熱	4		
	つつが虫病	77	4	1
	デング熱	141		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	62		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	2		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	1		
	マラリア	20		
	野兎病			
	ライム病	2		
リッサウイルス感染症				
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	763	8	1	
レプトスピラ症	4			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アムール赤痢	412	4	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	150		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	912	6	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	35		
	急性脳炎	480	4	
	クリプトスポリジウム症	8		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	86		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	447	3	
	後天性免疫不全症候群	554		
	ジアルジア症	22		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	300	2	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	22		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1951	12	
	水痘(入院例に限る)	232	7	
	先天性風しん症候群	3		
	梅毒	3105	9	
	播種性クリプトコックス症	68		
破傷風	50			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	37			
百日咳	7679	73	12	
風しん	1848	3		
麻しん	638			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	16			

トピック

<ヘルパンギーナや手足口病の流行期が近づいてきました>

秋田県も梅雨入りし雨の日が続いていますが、間もなく本格的な夏がやってきます。例年、夏季にはエンテロウイルスによるヘルパンギーナや手足口病が全国的に流行しますが、今年はずでに西日本を中心に手足口病の流行が始まっています。全国の25週の定点あたり報告数(5.18)は警報基準の5を超え、すでに例年のピーク時よりも高くなっています(図)。秋田県における報告数はまだ少ないですが、全国から遅れて流行が始まる傾向にありますので、今後の動向にご注意ください。

■エンテロウイルス

エンテロウイルスには70以上の型があります。毎年流行を繰り返しますが、流行期の途中で主流となる型が入れ替わるため、一度感染しても別の型に再感染することがあります。

患者のつばや便に排出されたウイルスが、手指を介して鼻や口から感染します。回復後も2~4週間はウイルスの排出が続くとされています。

■症状

感染すると40℃近い高熱とともにのどや口腔に痛みを伴う水疱性の発しんが現れます(ヘルパンギーナ)。また、軽い発熱や手足などにも2~3mmの発しんが現れることもあります(手足口病)。のどの強い痛みのため飲食が困難な場合は、脱水症状などを起こさないように注意しましょう。患者の多くは1週間程度で回復しますが、中には無菌性髄膜炎を併発する場合もあります。意識障害などの重い症状が見られたら、速やかに医療機関を受診してください。

■予防

予防対策としては、手洗いが有効です。また、栄養バランスのよい食事、十分な睡眠など、日常生活における体調管理も大切です。

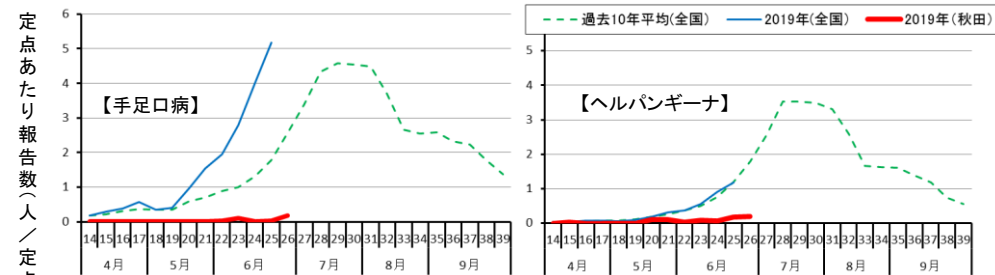


図 手足口病およびヘルパンギーナの定点あたりの患者報告数

感染症の集団発生報告

感染性胃腸炎の集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名	有症者数					
		利用者(園児、入所者等)	職員	計			
北秋田市	前田保育園	26名のうち	8名	11名のうち	3名	11名	
		報告日	6/25	把握期間	5/28 ~ 6/25	症状	嘔吐、下痢

つつが虫病情報

つつが虫病の発生報告が1件ありました。

No.5

届出年月日	2019年6月27日
患者の住所	大仙保健所管内
患者の年齢	70代
性別	男性
症状	発熱、発疹、刺し口(左前腕)、頭痛、リンパ節腫脹
診断年月日	2019年6月27日



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	大館(1.25)、秋田中央(1.75)	-

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		